

教育支援活動コーディネーター等研修会 第2回地区研修会

平成27年11月25日13:30~16:00
美咲町立柵原西小学校 参加者 30名

活動参観

☆活動内容 5年生家庭科学習支援

(参観者の感想から)

- ・ミシンの学習にどの児童も積極的だったのは、ボランティアさんがおられるという安心感からかと感じられた。
- ・ミシンは大変そうなので、うちの学校でも先生と相談して、ボランティアを入れられるようにできたらと思った。



5年生家庭科学習支援の様子

取組紹介

- (柵原西小学校) 学校支援地域本部事業を中心に紹介
- ・そろばん指導 ・読み聞かせ ・地域の(株)トンボによる学習支援
- (柵原東小学校) 土曜日教育支援事業を中心に紹介
- ・学習習慣づくり ・体験活動 ・美作大学生による支援
- (柵原中学校) 学校運営協議会(コミュニティスクール)を中心に紹介
- ・先進校視察 ・地域貢献活動 ・ゲストティーチャーによる本物の体験



取組紹介の様子

情報交換

第1回地区研修会(6月12日)で志々田先生からいただいたミッションについて情報交換

- ・ミッション1 「学校に信頼されるパートナーになろう！」
- ・ミッション2 「地域を誇れる子どもを育てよう！」

子どもたちが地域の人からほめられることが多くなった。

講話

広島経済大学 経済学部 教授 志々田 まなみ 氏

「つながりで広げる学校支援」

☆「新しい教育」を考えるチームになろう

新しい教育とは？

「2011年に小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時には存在していない職業につくだろう」(Davidson, C. 2011)
→そんな将来を生き抜く子どもたちにどんな力をつける必要があるか。



講話の様子

「親の子育て観や教育観は無意識に世代継承される」

→支援がなければ教育格差は次世代に継承される可能性が高い。(虐待等の負の連鎖も)

地域全体(チーム)で子どもを育てよう

☆これまで培ってきた・残っている地域の教育力を保育所・幼稚園・学校を窓口にしてすべての子どもたちに注ぎ込む。

☆「子育ては親がするもの」、「親はもっと努力すべき」という意見を持った子育て経験者層を、味方につけられれば百人力!

(アンケートから)

- ・ひとつひとつの「ねらい」を明確にすることが大切。双方向性の共有が必要。
- ・現在、学校から依頼された活動しかできていない。柵原東小学校で取り組まれている、「ホリデーわくわく」(土曜日教育支援事業)のような活動ができるとよい。
- ・先が見えない社会に向けて、子どもたちに何が必要か、統一した考えを話し合い取り組む必要がある。